



木刈中学校区 合同学校運営協議会 開催レポート



夏休みも中盤に入った8月3日、木刈中学校区学校運営協議会が開催されました。木刈中学校区に属する木刈中学校・木刈小学校・小倉台小学校は、今年度は単独で学校運営協議会を設置していますが、第2回学校運営協議会は3校合同で開催しました。

今回の協議会では、「中学校卒業時まで育てたい力について～学校・家庭・地域でできること～」をテーマに熟議を行いました。その中で「自己理解・他者理解」「思考力・判断力・表現力」「コミュニケーション力」などが、卒業までに育成したい力として挙げられました。

特に「表現力」は3校中2校で、「コミュニケーション力」は3校すべてで重要な力として位置づけられ、木刈中学校区として重点的に育てていきたい力であることが共有されました。熟議では、「自分の言葉で伝える力」「自分の思いや考えを発信できる力」の大切さを指摘する意見が多く出され、表現力やコミュニケーション力の重要性が改めて確認されました。

続いて、「そのためにはどのような学び・体験が必要か」について意見交換が行われました。話し合いのキーワードは「体験・経験」であり、「地域の力」や「地域での体験」に期待する声が多く挙がりました。

協議会後には、「このように意見を出し合う場はとても重要だ」、「PTAでも同様の話し合いの機会があるとよいのではないか」といった感想が寄せられ、今回の熟議を前向きに評価する声が多く聞かれました。

今回の学校運営協議会を通して、学校・家庭・地域が目指すことも像を共有するととともに「学校を地域で支えていく」という意識が一層高まったことが感じられました。



熟議って何だろう？ ～みんなで気づき、みんなで考え、みんなで動く～

対話から生まれる学校づくり～前半の学校運営協議会を振り返って～

学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちの成長を支えるための話し合いが「熟議」です。市内の学校運営協議会では、教職員、保護者、地域住民の代表が委員として集まり、子どもたちの成長のために何ができるかを話し合っています。熟議とは、ただ意見を出し合うだけの話し合いではありません。学校や地域の現状について気づき、それぞれの立場から考えを深め、子どもたちのために何ができるかを一緒に考え、行動につなげていくための話し合いです。

今年度前半の学校運営協議会では、「どんな子どもに育ってほしいか」「子どもたちどのような学びや体験が必要か」「地域の力をどのように生かせるか」などをテーマに熟議が行われました。学校運営協議会は、話し合うことが目的ではありません。熟議を通して学校・家庭・地域が目標を共有し、それぞれの立場でできることを考え、実際の活動につなげていくことが大切です。

後半の学校運営協議会では、前半の熟議から生まれたアイデアを具体的な取組へとつなげていきます。そして、その取組を振り返りながら、よりよい学校づくりへと生かしていきます。これからも学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちの学びと成長を支えていきます。

